

東京証券取引所 スタンダード市場

証券コード：6405

2026年3月期 決算説明会



2026年 5月 18日 | 鈴茂器工株式会社

目次

1. 2026年3月期 連結決算概要	-----	P.3 ~ P.14
✓ 業績サマリー		
✓ 前期比 業績概要		
✓ 国内・海外 売上高比率		
✓ 国内・海外 四半期売上高推移		
✓ 国内 業態別自社機売上高		
✓ 海外 地域別売上高		
✓ 前期比 営業利益		
✓ 売上高・営業利益・ROEの推移		
✓ 連結貸借対照表		
2. 2027年3月期 連結業績予想	-----	P.15 ~ P.19
3. トピックス	-----	P.20 ~ P.22

2026年3月期 連結決算概要

2026年3月期 連結決算：業績サマリー

売上高

15,864百万円

+1.9%

国内 **10,033**百万円 **△5.4%**

海外 **5,831**百万円 **+17.5%**

営業利益

1,009百万円

△46.6%

営業利益率

6.4%

△5.8pp

■ 前期比増減率

■ 売上高

- 国内は2Qから大手ホテルチェーン店へのご飯盛付けロボットFuwaricaの新規導入が本格化する等、新規開拓は進捗しており、懸念であった前期4Qから続くコメ価格高騰の事業者への影響は回復傾向にあるものの、大手チェーンの入れ替え需要の一巡により減収
- 海外は北米において大手チェーンへの大型案件の一部が計画より遅れるも、東アジアにおける大手回転寿司チェーンを中心とした日系企業進出による需要増

■ 営業利益/営業利益率

- 売上高は増加するも、製品MIXの影響や新工場稼働に向けた製造労務の増加により粗利益は減少し、中期経営計画「Next 2028」で掲げた事業基盤構築に伴う人員増強、人事制度の改定等による人的投資を中心とした先行投資、資本業務提携解消に伴う想定外のコストが発生したことで販管費が増加し、大きく減益

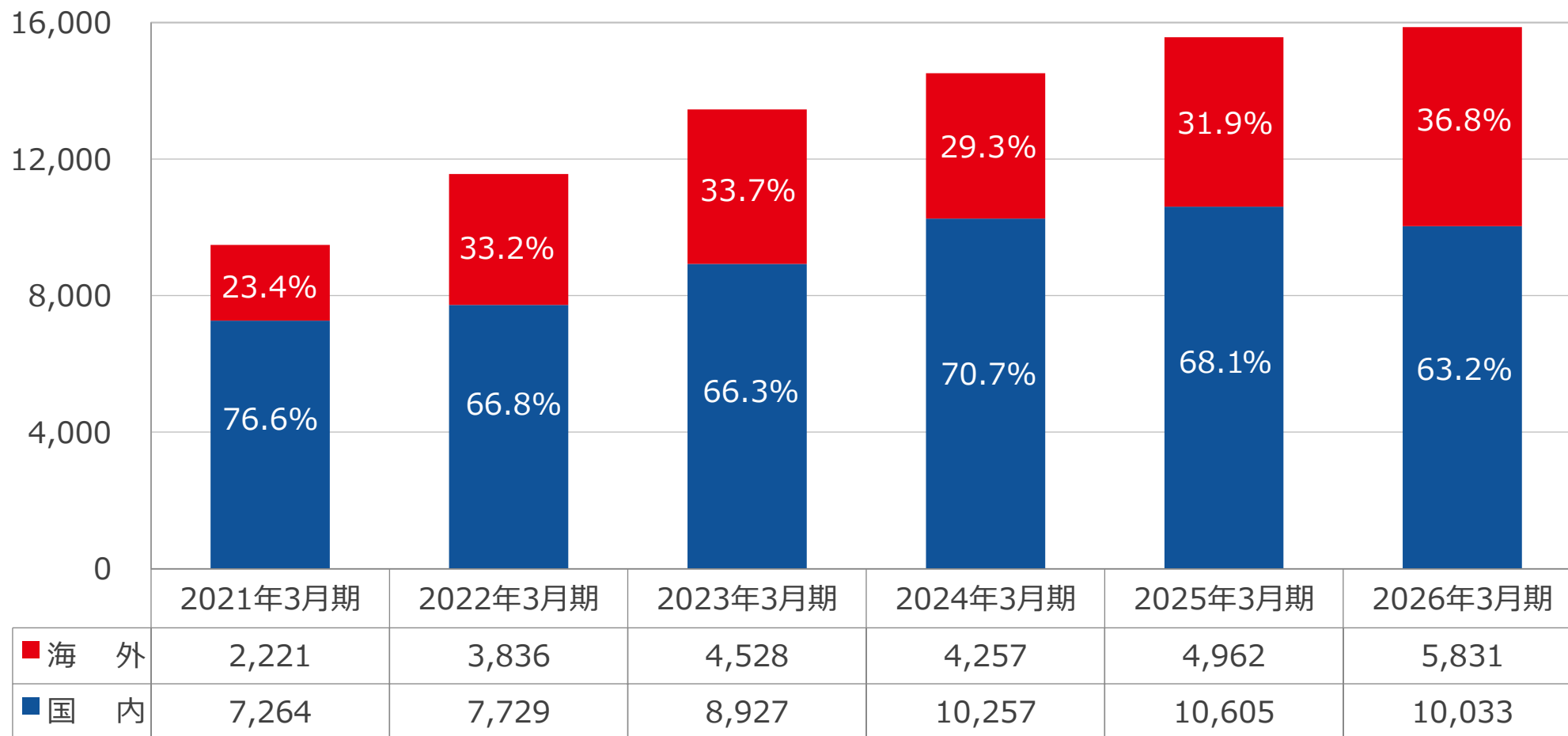
2026年3月期 連結決算：前期比 業績概要

(単位：百万円)

	2025年3月期		2026年3月期		
	実績		実績	増減額	前期比
売上高	15,568		15,864	+296	+1.9%
国内	10,605		10,033	-572	-5.4%
海外	4,962		5,831	+868	+17.5%
売上原価	7,703		8,273	+569	+7.4%
売上総利益 (利益率)	7,864 (50.5%)		7,590 (47.8%)	-273 (-2.7%)	-3.5%
販売費及び一般管理費 (販管費率)	5,974 (38.4%)		6,581 (41.5%)	+607 (+3.1%)	+10.2%
営業利益 (利益率)	1,890 (12.1%)		1,009 (6.4%)	-880 (-5.8%)	-46.6%
経常利益 (利益率)	1,947 (12.5%)		1,043 (6.6%)	-903 (-5.9%)	-46.4%
当期純利益 (利益率)	1,462 (9.4%)		602 (3.8%)	-860 (-5.6%)	-58.8%

2026年3月期 連結決算：国内・海外 売上高比率

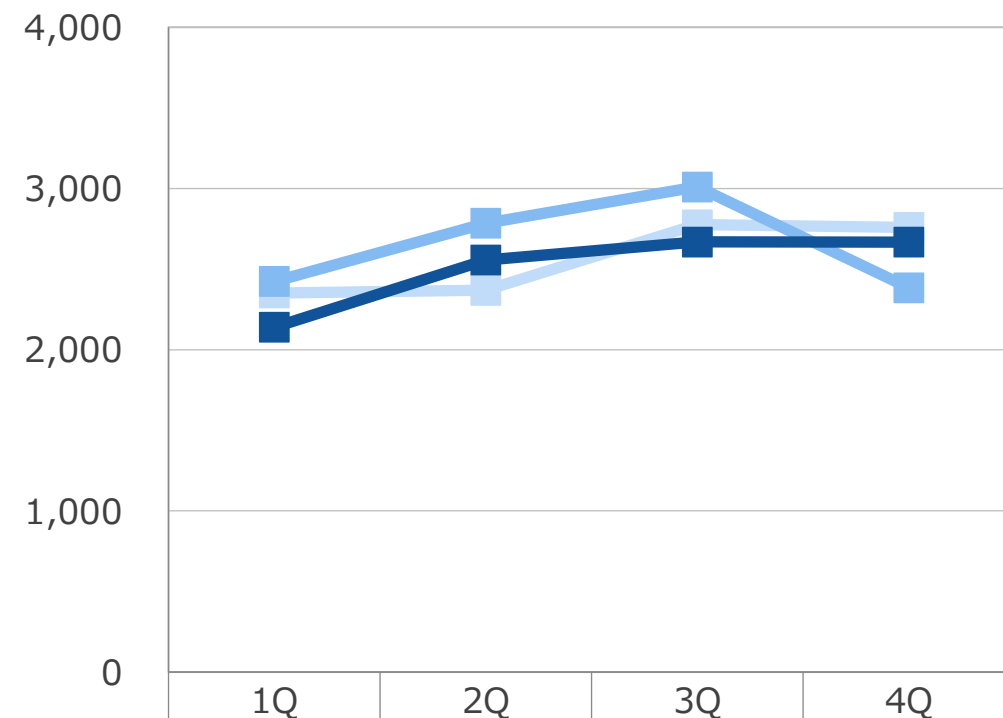
売上高 (単位：百万円)



2026年3月期 連結決算：国内 四半期売上高推移

(単位：百万円)

■ 国内売上高



	1Q	2Q	3Q	4Q
'24/3	2,352	2,369	2,776	2,759
'25/3	2,424	2,785	3,010	2,384
'26/3	2,140	2,556	2,668	2,668

国内の概況

【外部環境】

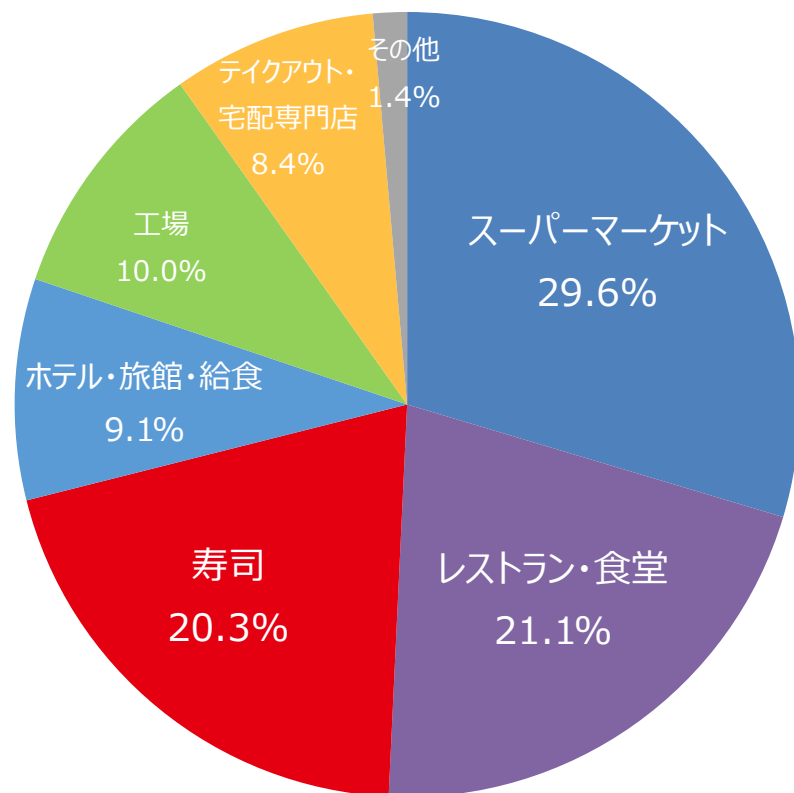
- インバウンド需要の増加や人手不足を背景とした省人化ニーズは継続
- 前期4Qから続くコメ価格高騰による事業者の設備投資計画の延期等への影響が継続しているが、下期でやや回復

【売上高の動向】

- ご飯盛付けロボットFuwaricaの新規顧客開拓は進捗しているものの、寿司業態やレストラン・食堂業態における大手チェーン店の入替需要の一巡や、スーパーマーケット業態における増設需要の減少等により減収
- 昨年発表した新製品の販売（寿司ロボットの入れ替え、業務用炊飯器、ソリューション製品）については今期に効果が出る見通し

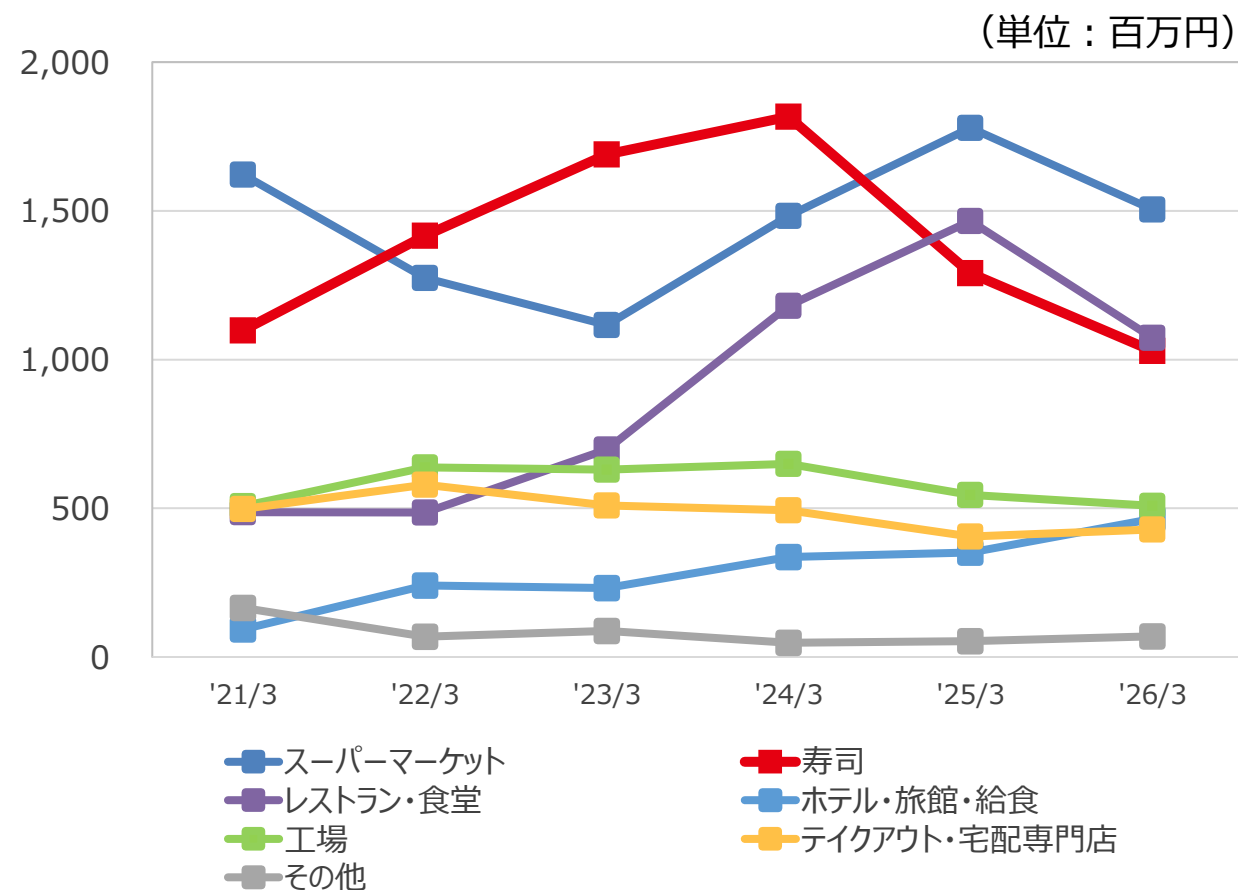
2026年3月期 連結決算：国内 業態別自社機売上高

■ 国内 業態別売上高比率
(2026年3月期)



※ 業態別売上高比率は国内自社機売上高に基づき算出

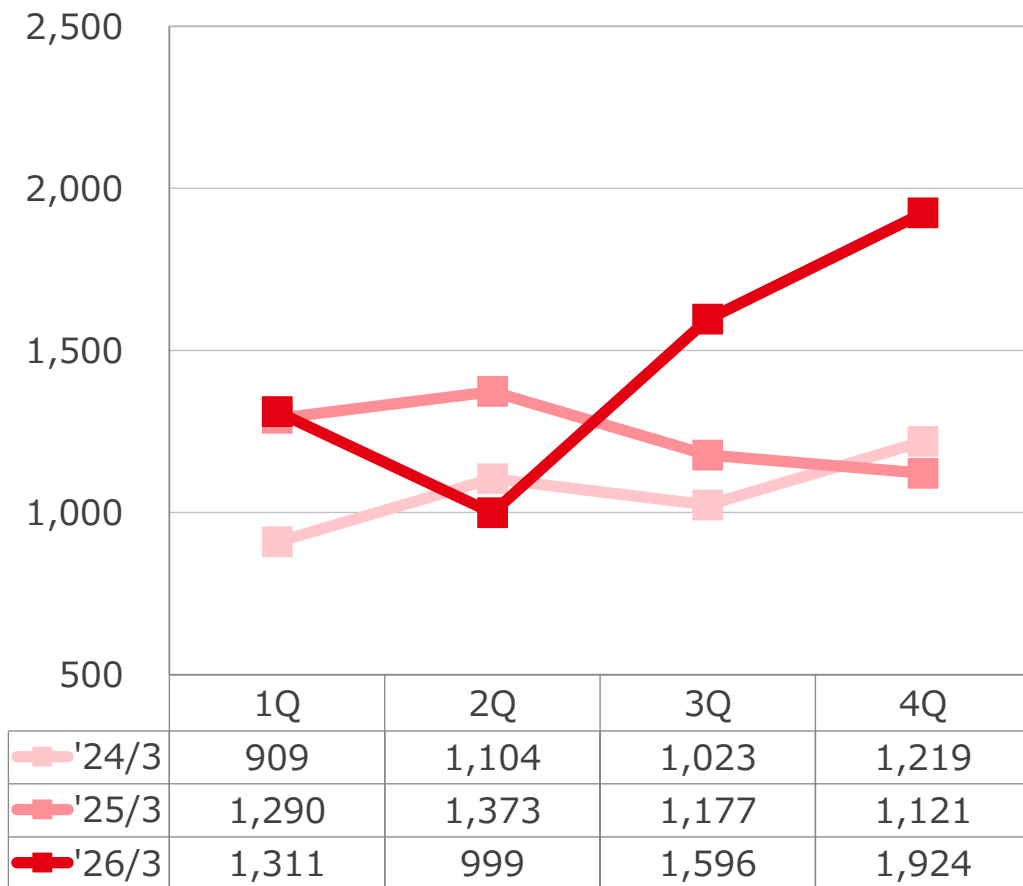
■ 国内 業態別売上高推移



2026年3月期 連結決算：海外 四半期売上高推移

(単位：百万円)

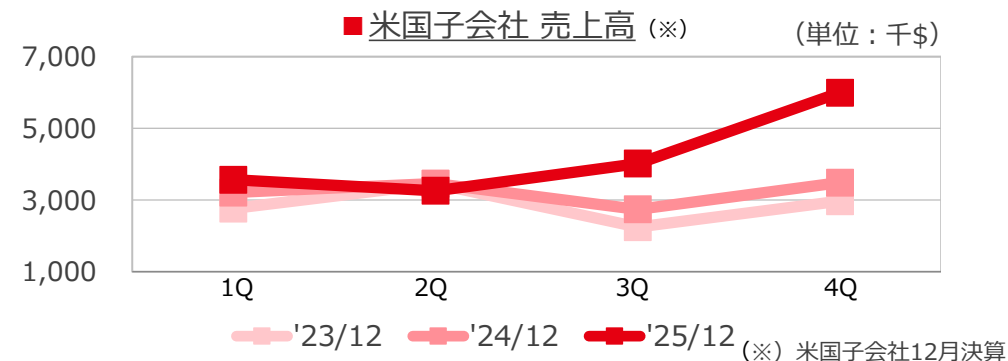
■ 海外売上高



海外の概況

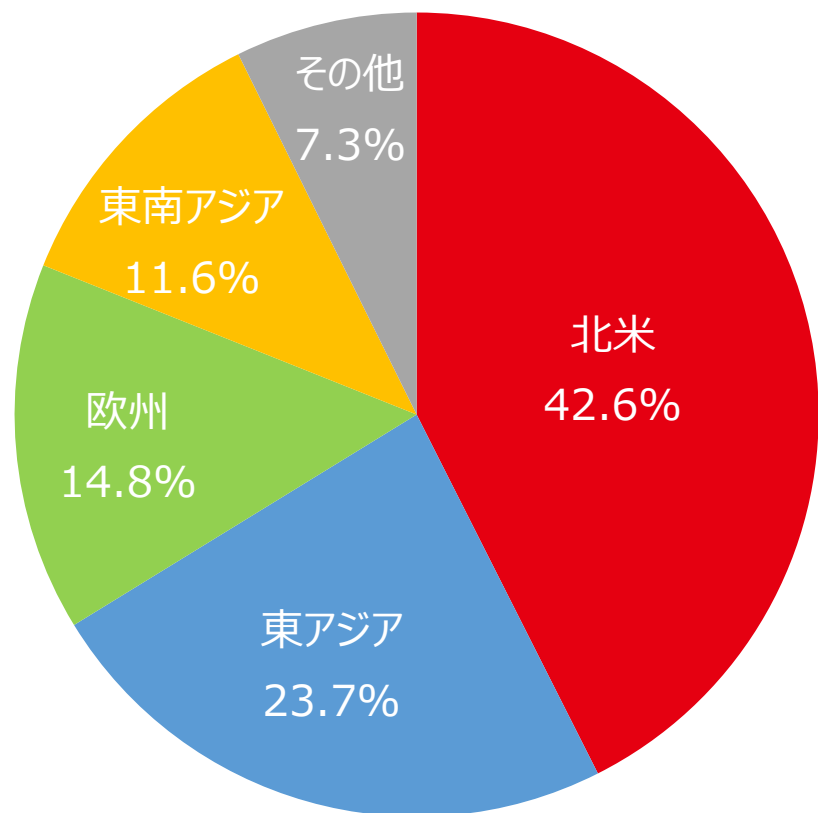
【地域別の動向】

- 北米は市場における機械化や省人化の需要は高い水準で推移しており、当初計画より遅れていた大手チェーン向けの大型案件の一部は4Qでほぼ完了し売上高に寄与
- その他地域について、東アジアは日系回転寿司チェーンを中心とした出店増により売上高伸長、東南アジアも同様に日系企業の進出が増加しつつある
- 欧州での販売店再編による販売施策は今期以降に効果発現見込み



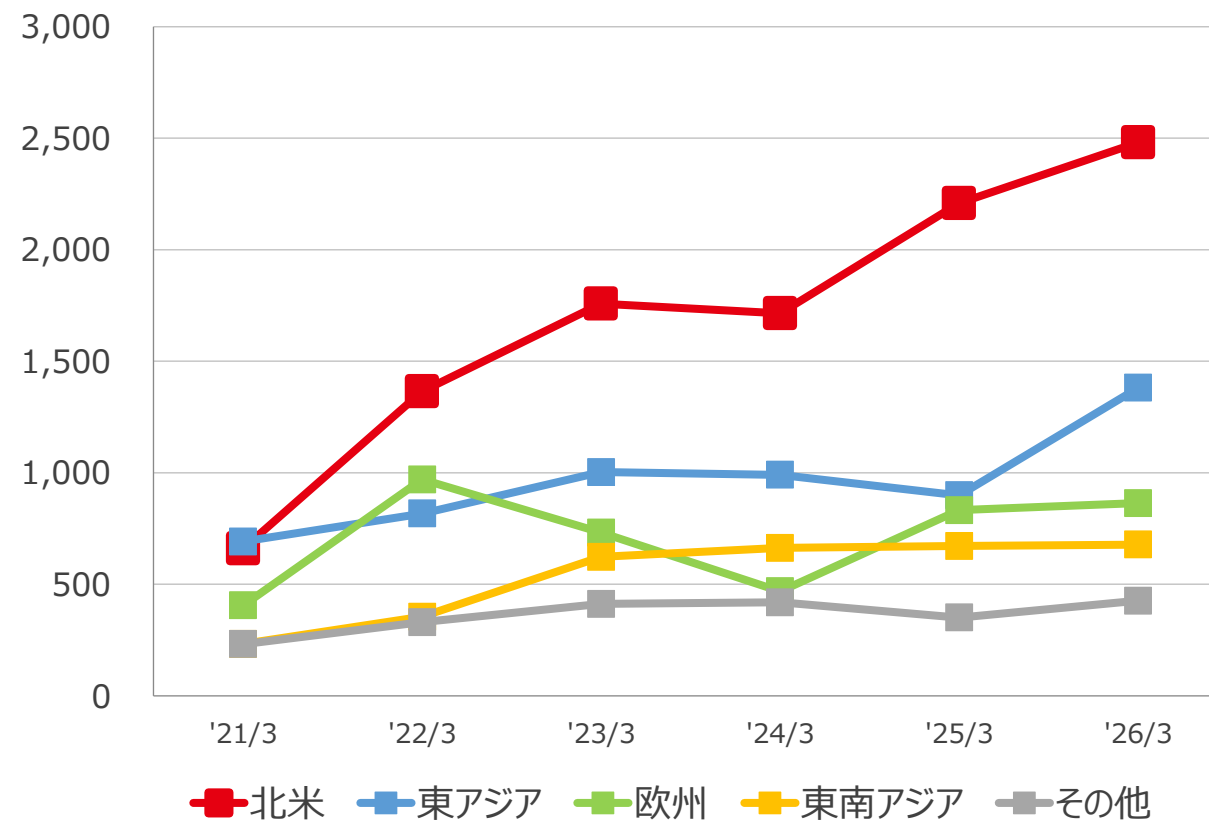
2026年3月期 連結決算：海外 地域別売上高

■ 海外 地域別売上高比率
(2026年3月期)



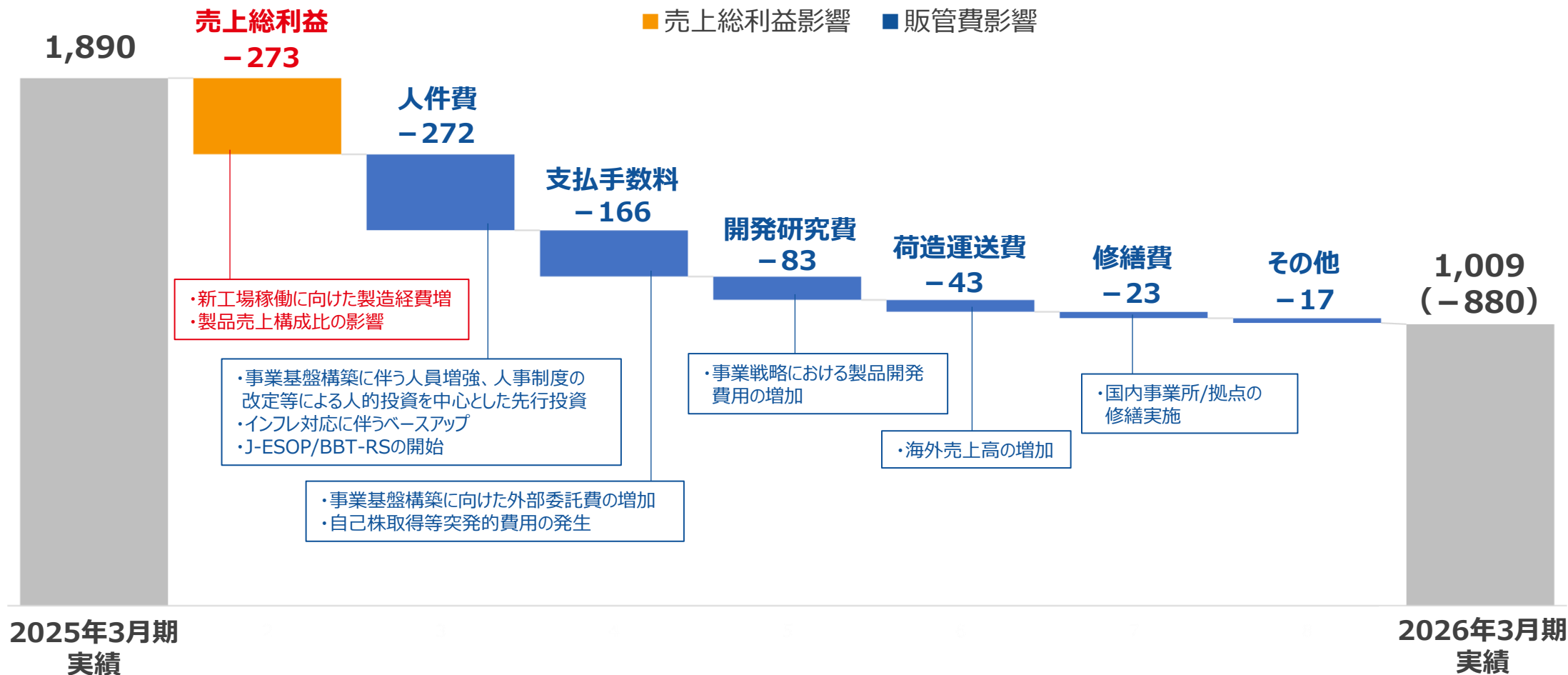
■ 海外 地域別売上高推移

(単位：百万円)



2026年3月期 連結決算：前期比 営業利益

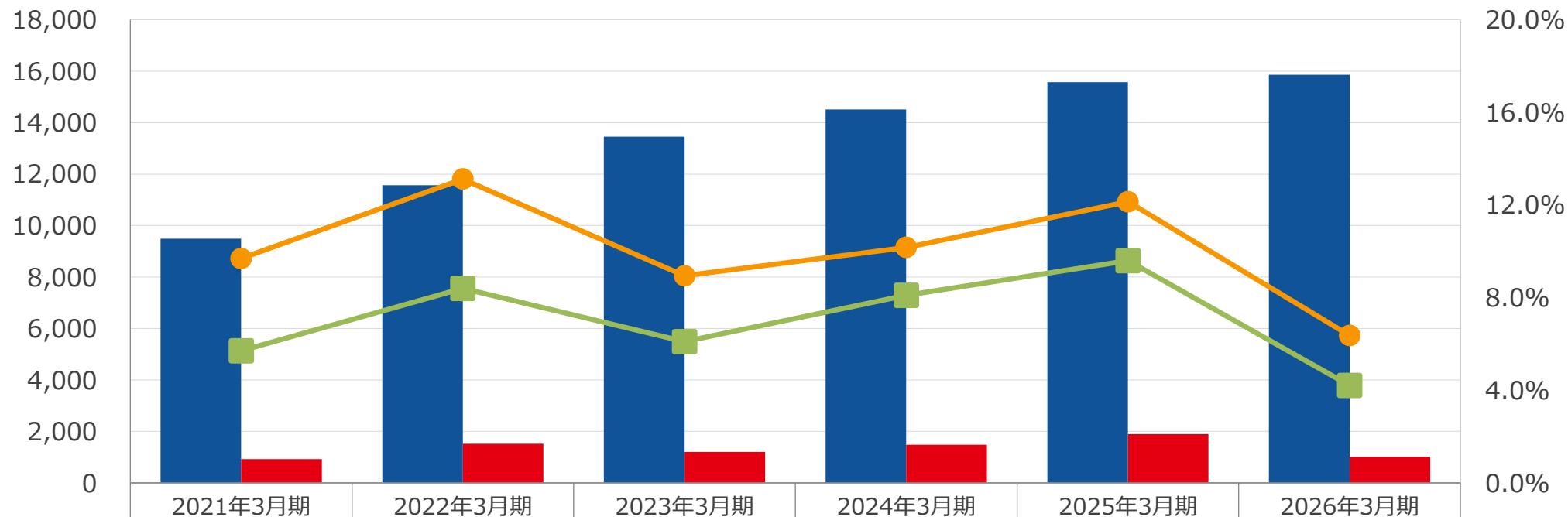
(単位：百万円)



2026年3月期 連結決算：売上高・営業利益・ROEの推移

売上高 / 営業利益
(単位：百万円)

営業利益率/ROE



■ 売上高	9,486	11,565	13,456	14,514	15,568	15,864
■ 営業利益	919	1,517	1,203	1,475	1,890	1,009
● 営業利益率	9.7%	13.1%	8.9%	10.2%	12.1%	6.4%
■ ROE	5.7%	8.4%	6.1%	8.1%	9.6%	4.2%

2026年3月期 連結決算：連結BS 資産の部

(単位：百万円)

	2025年3月期 期末		2026年3月期 期末		前期比	
	実績	構成比	実績	構成比	増減額	前期比
流動資産合計	10,841	55.7%	8,757	45.8%	-2,084	-19.2%
現金及び預金	5,597	28.7%	2,973	15.6%	-2,623	-46.9%
売上債権	2,039	10.5%	2,255	11.8%	+216	+10.6%
たな卸資産	2,819	14.5%	2,981	15.6%	+162	+5.7%
その他	385	2.0%	547	2.9%	+161	+41.8%
固定資産合計	8,630	44.3%	10,344	54.2%	+1,713	+19.9%
有形固定資産	7,028	36.1%	8,609	45.1%	+1,581	+22.5%
無形固定資産	518	2.7%	653	3.4%	+135	+26.0%
投資その他の資産	1,084	5.6%	1,081	5.7%	-2	-0.2%
資産合計	19,471	100.0%	19,101	100.0%	-370	-1.9%

2026年3月期 連結決算：連結BS 負債純資産の部

(単位：百万円)

	2025年3月期 期末		2026年3月期 期末		前期比	
	実績	構成比	実績	構成比	増減額	前期比
負債合計	3,502	18.0%	6,144	32.2%	+2,641	+75.4%
流動負債	2,007	10.3%	3,043	15.9%	+1,035	+51.6%
固定負債	1,494	7.7%	3,101	16.2%	+1,606	+107.5%
純資産合計	15,969	82.0%	12,956	67.8%	-3,012	-18.9%
株主資本	15,423	79.2%	12,409	65.0%	-3,013	-19.5%
その他包括利益累計額	505	2.6%	507	0.2%	+2	+0.4%
非支配株主持分	39	0.2%	39	0.2%	-1	-2.0%
負債純資産合計	19,471	100.0%	19,101	100.0%	-370	-1.9%

2027年3月期 通期業績見通し

2027年3月期 通期業績予想

(単位：百万円)

	2026年3月期		2027年3月期					
	通期		第2四半期			通期		
	実績	構成比	計画	構成比	前期比	計画	構成比	前期比
売上高	15,864	100.0%	8,270	100.0%	+18.0%	17,580	100.0%	+9.5%
国内	10,033	63.2%	5,155	62.3%	+9.8%	10,785	61.3%	+7.5%
海外	5,831	36.8%	3,115	37.7%	+34.8%	6,795	38.7%	+13.1%
営業利益	1,009	6.4%	350	4.2%	+337.8%	1,000	5.7%	-0.9%
経常利益	1,044	6.6%	340	4.1%	+472.4%	1,060	6.0%	+1.5%
当期純利益	603	3.8%	210	2.5%	+316.0%	630	3.6%	+4.5%

2027年3月期 通期配当予想

	2025年3月期	2026年3月期	2027年3月期
	実績	実績	予想
1株当たり当期純利益	113.09円	50.94円	53.19円
配当（合計）	34.00円	35.00円	35.00円
中間	15.00円	15.00円	15.00円
期末	19.00円	20.00円	20.00円
配当性向	30.1%	64.7%	62.0%
総還元性向	30.1%	※599.8%	62.0%

※ 2025年8月12日に自己株式1,797,500株を取得した影響

注) 期末株式数を用いて試算、JESOP/BBTRSに関わる取得費用は総還元性向には含まない

2027年3月期 経営方針

「サステナブルな企業経営に向けた改革断行の一年」

経営改革

財務資本政策
サステナビリティ経営

事業改革

バリューチェーンの強化
ソリューションプロバイダーへの転換

業務改革

人材育成・人材登用
業務効率化・DX化

2027年3月期 事業環境

	リスク	機会	製品
国内	<ul style="list-style-type: none"> ● 地政学リスク ● 原材料価格の高騰 ● 原材料の調達難 ● 物価の高騰 	<ul style="list-style-type: none"> ● インバウンド需要の継続 ● 深刻な人手不足 ● 人件費の高騰 	<ul style="list-style-type: none"> ● Fuwaricaの裾野拡大 ● 業務用炊飯器の拡販 ● 寿司ロボット (新製品への入れ替え) ● ソリューション製品の拡販 ● 大型機新製品の販売
海外	<ul style="list-style-type: none"> ● 為替相場の不安定性 ● 景気後退懸念 	<ul style="list-style-type: none"> ● 日本食の浸透 ● 日系企業の海外進出 ● 人件費の高騰 	<ul style="list-style-type: none"> ● 北米：大手チェーン開拓 ● 東アジア：日系進出 ● 欧州：大手KIOSK

トピックス

トピックス : 鶴ヶ島テックプラント（新工場）2026年3月操業開始



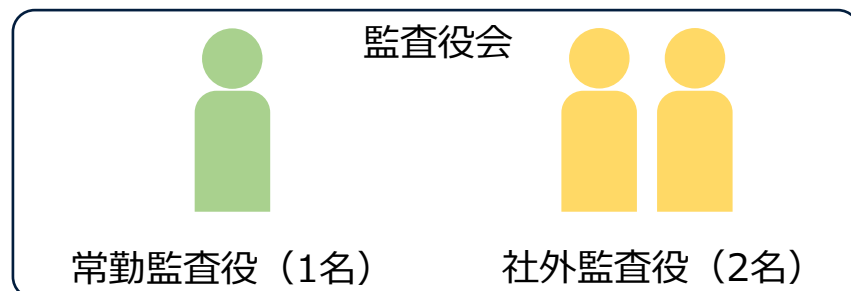
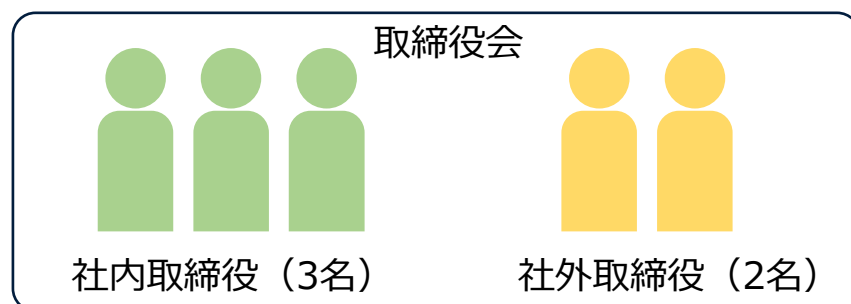
- 生産キャパシティは現工場の2倍以上を目指す
- 生産方式をライン生産に変更し生産性の改善に伴う原価低減に取り組む
- 2026年5月に約80名を配属
- 主力の小型機をメインに生産し、量産体制を構築
- 現工場は主力以外の小型機および大型機を主に生産
- 今後の需要動向および財務状況を鑑み、次期建設を検討
- 投資家様向けの工場見学ツアー今後実施予定

所在地	埼玉県鶴ヶ島市太田ヶ谷地内（圏央鶴ヶ島インターチェンジ横）
敷地面積	36,137.78 m ²
延床面積	8,237.63 m ² （鉄骨造／地上2階）
投資額	約27億円（建物）※投資予算内で完成
資金計画	自己資金
操業時期	2026年3月（計画通りに操業）※着工 2024年11月、竣工 2025年10月、操業 2026年3月

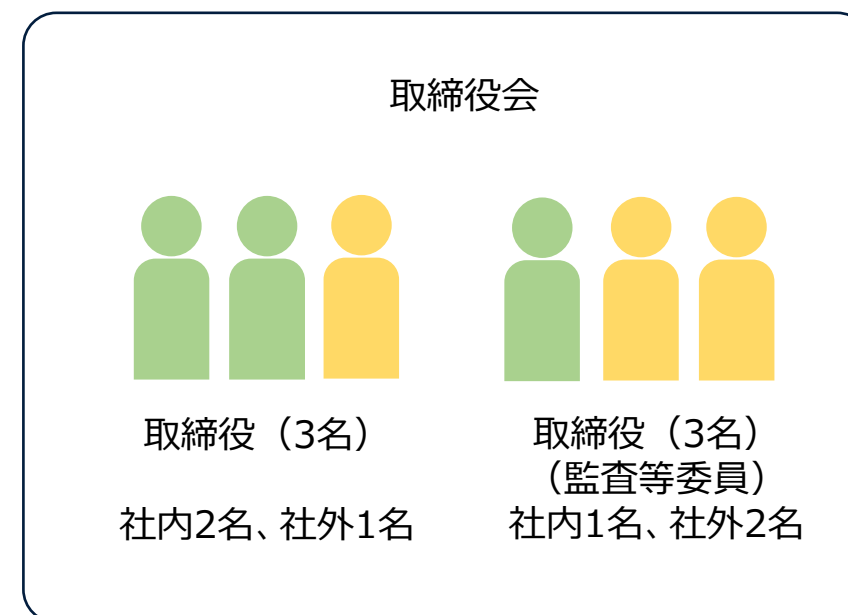
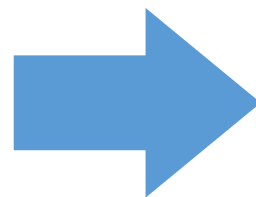
トピックス： 機関設計の変更 監査等委員会設置会社への移行

第66回定時株主総会での定款変更議案の承認を前提に【監査等委員会設置会社】へ移行

目的： 監査等委員である取締役が取締役会における議決権を有することで、取締役会の監査・監督機能の強化を図る ⇒ コーポレートガバナンス体制を充実させる



変更前



変更後

SUZUMO

IR・取材等のお問い合わせ先

鈴茂器工株式会社 経営企画部

TEL 03-3993-1396 | Email ir-info@suzumo.co.jp

本資料の業績計画ならびに将来予測は現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、潜在的なリスクや不確実性を含んでおります。そのため諸要因の変化により実際の業績は大きく異なる可能性があります。